

第 62 回 愛知県河川整備計画流域委員会 現地視察
豆搗川、前川 議事要旨

実施日：平成 29 年 11 月 9 日（木） 午前 9 時 00 分～午後 12 時 30 分
実施河川：豆搗川、前川

1. 開会
2. 主催者挨拶
3. 意見

○委員

・治水面の対策はもちろんだが、環境面でどういった対策ができるかもよく検討してほしい。

○委員

・現地視察は、水門等の構造物だけでなく、流域全体を視察できるような行程を考えてほしい。
・豆搗川の現地に落差工があった。土砂動態にも留意して欲しい。

○委員

・開発行為の持つ水害の危険性が軽視されているように思う。開発によって起こり得る水害の危険性や農地の保全の重要性などを発信できたらよいと思う。

○委員

・計画策定にあたって、市街地が増加する見通しであることや、地名から周辺の土地が低いと想定される地域もあることなど、土地利用状況に留意して欲しい。

○委員

・豆搗川について、水門の老朽化が見て取れた。
・土砂堆積が著しい箇所があったので、維持管理をしっかりしてほしい。
・工業団地の面積について把握し、適切な評価をして計画に反映してほしい。

○委員

・河口部に植生が少ない。コンクリート護岸の中に小面積でいいので、植生が期待できるような新工法を期待したい。

○委員

- ・設計津波高よりも計画高潮位の方が高くなっているが、この辺りは入り江のような形状をしているので、津波に対して不安を感じている住民も多いのではないかと思う。

○委員

- ・水質については、もっと汚いとイメージしていたが、思っていたよりも良かった。水質調査は継続的に行ってほしい。

○委員

- ・水質データについて年間平均値となっているが、年間を通してどのような頻度（回数・時期）で計ったものか。

●事務局

- ・資料等確認し、次回流域委員会で回答する。
- ・水質測定している場所と直近の測定結果を教えてください。
- ・水質について、BOD以外の項目についても測定結果があれば教えてください。

4. 閉会